令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	くらし環境課 上下水道課	電話番号	直通	989-5514 989-5524	
基本目標	住みやすく働きやすい豊かながいずみ				
政策	快適で便利なまちの実現	施策分野	環境		
施策分野の総事業費	前年度決算額	2,965,176 千円	今年度予算額	3,287,793 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	町民1人１日あたりのごみ排出量	目標値		684	681	677	673	670	g	C
		実績値	688	699	697					
2	資源化率（全ごみの中の資源物の割合）	目標値		25.4	25.8	26.2	26.6	27.0	%	D
		実績値	25.0	24.4	23.3					
3	温室効果ガス排出量	目標値		518,900	509,000	499,200	489,400	479,500	t	B
		実績値	597,000	394,000	487,400					
4	下水道整備率	目標値		65	66	67	67	68	%	A
		実績値	64.0	66.9	67.2					

総合評価	B：順調

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	ごみ減量化に向けたごみ分別アプリによる啓発。国が認証するZEH（ｾﾞﾛ･ｴﾈﾙｷﾞｰ･ﾊｳｽ）や太陽光発電設備、V2H及びEV等への補助、また、中小企業者が実施する省エネルギー設備導入に対する支援の拡充やエコアクション21認証取得等に対する補助、置き配達専用BOXの配付 下水道の未整備区域の整備推進、既整備区域の排水設備への接続促進、下水道施設の適切な維持管理の実施。
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	国では、温室効果ガス排出削減目標を2013年度比で26%減から46%減へと大幅に上積みする等、高い目標を掲げており、町は、温室効果ガス排出量削減に向けて、これまで以上に家庭及び事業所の省エネ推進、低炭素化等の取り組みを強化すべきである。 そのような中、家庭系ごみが減少傾向にある一方、事業系ごみは増加傾向にあり、特に事業系の剪定枝は前年度と比較して著しく増加している現状を踏まえ、民間処理業者を通じた再資源化や、チップ化して公園の施設に使用する等の具体的な方策を検討する必要がある。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	ごみの減量に向け、４Rの取り組みや再資源化の推進を強化しながら、産業廃棄物の排除、収集事業者が回収時に行っている現況把握調査、焼却場への持ち込み事業者を対象とした廃棄物調査及びそれに基づく指導などを継続していく。また、今年度試行的に実施するリユース事業の様に民間ボランティア団体との協働による事業を積極的に展開していくとともに、出前講座や広報誌、ホームページ等、様々な媒体や機会を活用し、分別に対する啓発活動をより積極的に実施していく。 地球温暖化対策に関しては、2050年カーボンニュートラル及び脱炭素化社会の実現に向けて、再生可能エネルギーとの融通やレジリエンス強化を目的とし、ZEH等の支援に対する補助事業を推進していく。